広報 なんと

2013.3
平成25年
2月25日発行

No.100

トップの座は譲れない！

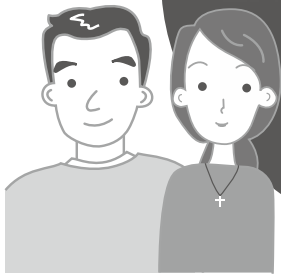
全中スキー大会距離競技のラストを飾るリレー競技。
県代表のプライドを掛け、激しいポジション争いを繰り広げました！

なんと みらい ちゃん
（祝☆100号記念バージョン）

南砺市ホームページ http://www.city.nanto.toyama.jp
メールアドレス info@city.nanto.lg.jp
QRコード

男女共同参画推進員南砺市連絡会だより

「たがいに認めあい支えあう社会を目指して」

男女共同参画社会の実現に向けて、市から委嘱された76名の男女共同参画推進員が連絡会を構成し、組織的に活動しています。その活動の一部を紹介します。

全体研修会から学んだこと

男女共同参画推進員南砺市連絡会では、推進員の自己研さんを目的に年2回、全推進員対象の研修会を行っています。

今年は、推進員の任期交代の年に当たり、新任の推進員が半数を占めることから、「男女共同参画社会」についての基礎を学び、地域における具体的な活動目標・内容等について推進同士の情報共有を計ることに努めました。

第1回 全体研修会
（於：いのくち椿館） 7月7日(日)

サンフォルテ（富山県女性財団）から講師をお招きし、約40人の推進員がサンフォルテカレッジ（基礎・入門編）「初心者にもわかる男女共同参画推進活動」と題した講座を受講しました。

審議会等における女性委員の割合や女性の管理職の割合、DVの相談件数など、数値データを読み解きながら様々な視点から男女共同参画社会について学びました。

また、富山県民男女共同参画計画に関するクイズが出題されるなど、楽しみながら男女共同参画について学びました。

研修会後の推進員の意見

- 男女共同参画の活動を地域の皆さまに知っていただく努力が必要。
- 地域活性化に向け、出来ることを無理なく、地域で楽しく推進活動を実践していきたい。
- 若い世代の男性の家事、育児参加は当たり前のようになっていると感じる。その子たちが大人になったら、もっと男女共同参画が浸透するのではないか。
- 家事や介護の役割分担について推進していきたい。
- 県内のDV相談件数が8倍と急増しているなかで、今後の推進員の役割は何だろう、と考えるきっかけとなった。

第2回 全体研修会
（於：南砺市福野体育館） 11月25日(日)

始めに、市より今年見直しが行われた「南砺市男女共同参画推進プラン」の概要を説明。続いて、「防災と男女共同参画～災害に強いまちづくりの鍵～」と題して、NPO法人Nプロジェクトひと・みち・まちの大坪久美子理事長より講義を頂きました。

また、男女共同参画の視点から「理想の避難生活とは？」と題して、ワールドカフェ（グループ討議）も行いました。

講義「防災と男女共同参画
～災害に強いまちづくりの鍵～」

東日本大震災の避難所の運営や生活の実態から、防災に関する施策・方針決定過程及び防災の現場における「女性の参画」が非常に重要であること。そして、地域の防災力アップには「男女共同参画の浸透は、その重要な一歩であること」を学びました。

研修会後の推進員の意見

- 男女共同参画の視点から、地域社会における防災の役割を改めて認識しました。地域のみんなで考えていくことが必要。
- 「防災」が「男女共同参画」と関係あるのかと思っていたが、とても大切なことだと気付いた。
- 自分がその場（避難所）に居合わせたら、どのような意見が言えるのか。言えるために、意識改革が必要だと感じた。
- 「避難所における女性リーダー」の存在が必要だと感じた。マニュアル作成も、男女共同参画推進員の有効な活動と感じたので実現に向けたい。

砺波ブロック地域別研修会から学んだこと 2/3(日)

今年の砺波ブロック地域別研修会は井波総合文化センターで行われ、南砺・砺波・小矢部の3市から約90名の推進員が参加しました。

まず、県男女参画・ボランティア課より、県内における男女共同参画施策の推進状況が報告されました。

続いて、市男女共同参画推進員連絡会福光支部のメンバーが、寸劇コント「互いに支え合う家庭（パートⅡ）」を熱演。「カジダン」や「イクジィ」が登場するなど、家事・育児・介護の場面ごとに男女共同参画のあるべき姿が紹介されました。

その後、「女性と地域活動」をテーマにワールドカフェ（グループ討議）を実施。「女性の声が活かされている地域のメリットは？」「どうすれば、女性の声を取り入れやすくなるのか？」など、3市の推進員さんは活発に意見交換していました。

研修会後の推進員の意見

- 男性の視点で、地域（コミュニティ）における女性の活かされ方などの話が聞けて良かった。今後の地域活動の参考となった。
- 地域によっては、婦人会がなくなるなど、女性の集まる機会がなくなっているというのが現実。地域のコミュニケーションのためには女性の力が必要だと感じた。
- 自治振興会の役員構成に女性の役員も設けたい。
- 男女共同参画への様々な意見が聞けて有意義だった。具体的に男女共同参画を推し進めるためにも、積極的に地域活動に参画する行動が必要だと感じた。
- 「女性と地域活動」について具体的な目標をたて、行政へ提言するなど、積極的に行動をおこしたい。

◎男女共同参画推進員南砺市連絡会「平成24年度活動報告」

日程	活動内容
4月21日(土)	富山県男女共同参画推進員全体研修会
7月7日(日)	南砺市連絡会第1回全体研修会 内容：講座「初心者にもわかる男女共同参画推進員活動」
7月20日(土)	福光ねつおくり七夕まつり 社会を明るくするパレードへの参加
9月9日(日)	市公民館まつりでの啓発活動 内容：掲示物による活動紹介／啓発用クリアフォルダの配布
11月25日(日)	南砺市連絡会第2回全体研修会 内容：①「南砺市男女共同参画推進プラン(改訂)について」 ②講義とワールドカフェ(グループ討議) テーマ:「防災と男女共同参画」～災害に強いまちづくりの鍵～
2月3日(日)	富山県男女共同参画推進員地域別研修会(砺波ブロック) 内容：①寸劇コント「互いに支え合う家庭(パートⅡ)」 南砺市連絡会福光支部 ②ワールドカフェ(グループ討議)テーマ:「女性と地域活動」
年間	定例会(12回)

◎問い合わせ　市民協働課　市民協働係（協働のまちづくり支援センター内）☎㉓2036

支部活動紹介

南砺市連絡会では、市全体での活動のほかに8地域に分かれた支部活動でも、男女共同参画推進の啓発普及に取り組んでいます。地域で開催される集会や各種行事において様々な工夫を凝らし、地域に密着した草の根の普及・啓発活動を行っています。参加・協力いただいた皆さん、ありがとうございました。支部活動の一部をご紹介します。

城端支部

パパと作ろう石窯焼きピザ作り

期　日　9月9日(日)　参加者　約25名

普段、仕事で忙しい父が子供たちと協力しながら、ピザ作りに興じるこの企画。最初に男女共同参画について理解を深めてもらうため、推進員の活動内容や事例などを説明しました。

ピザ作りでは、慣れない手つきながらも親子で楽しく生地を薄くのばしたり、トッピングを選んだりする参加者のみなさん。アツアツのピザを仲良く食べておられる様子は微笑ましいものでした。これを機会に、父と子が食事や家事に関心を持ち、協力してもらえば幸いです。

上平支部　男も女もクッキング

期　日　11月26日(月)

食生活改善推進協議会上平支部から講師を迎え、いつまでも健康で、いきいきとした生活を続けるための「低栄養予防メニュー」に挑戦。ご夫婦仲良く参加され、旦那様の中には、妻の手助けに…と料理に取り組む方も見受けられました。最後は、調理や食べることの大切さを話し合いながら会食を楽しみました。

平支部　地域体育大会にて

期　日　10月8日(祝･月)
会　場　平小学校グラウンド

平地域体育大会では、平支部と自治振興会が協力して防災訓練の一つである「たんかリレー」を男女共同で行いました。用意された毛布と棒で担架を作り、人形を運び競うこのレース。本番さながら…まではいきませんでしたが、真剣に取り組んでおられました。

利賀支部

「ニュースから見る元気な地域作り」の講演会

期　日　9月9日(日)
講　師　宮城 克文 氏(チューリップテレビアナウンサー)

取材を通して利賀村と馴染みの深い宮城氏に、共同で取組む地域づくりについて話して頂きました。県内に縁のある木曽義仲･巴御前の話題に触れ、NHK大河ドラマの誘致が実現すれば大きな経済効果が期待できるなど、各地域の取組み事例を紹介いただき興味深く聞くことが出来ました。

井波支部

井波地域文化祭での朗読劇上演

期　日　11月4 日(日)

井波総合文化センターで行われた井波地域文化祭で、朗読劇を上演しました。委員と来場者が共に楽しみながら、諸問題を考えるきっかけとなれば、との思いで企画され、3年間継続しております。毎年、台本には頭を悩ませておりますが、今年は砺波市連絡会のご協力を得て「クイズDE共同参画」井波版を朗読しました。

今後、男女共同参画について市民の皆様の理解を深めていただけるよう、私たちの活動範囲を少しでも広げていきたいと思っております。

福野支部

身近な男女共同参画 写真展

展示期間　9月～11月　　写 真 数　8～24枚

展示場所　福野地域での地区文化祭7会場

この写真展は「家庭」「地域」「職場」それぞれの場面で、男女が共同で行動する姿を撮影したものを展示し、地域の皆様に男女共同の具体的な姿を理解していただき、男女共同参画の推進に役立つことを目的として行ったものです。

推進員から24枚出品し、その中から厳選したものを9～11月に福野各地区で行われる地区文化祭に展示しました。

井口支部

イタリアン～Cooking!

期　日　9月22日(祝･土)　　参加者　40人

今年は流行に乗り、ワイルドな男のイタリア料理に挑戦。「ミッレプリマヴェーラ」の三谷尚敏オーナーシェフを講師にお招きし、「刺身を使ったサラダ」、「ミートソース」、「ワイルドな牛ステーキ」の3品を作りました。プロの手ほどきを受けながら、ちょっとした裏技なども伝授された参加者のみなさん。完成後、皆で美味しくいただきました。

来年もワイルドに、そしてマイルドに継続していきたいです。

福光支部

歳末芸能チャリティショーに参加

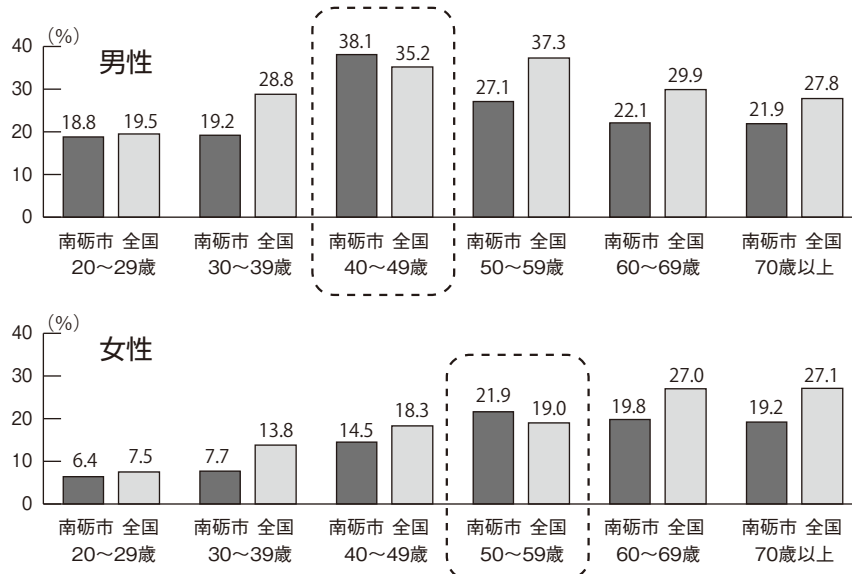
期　日　12月2日(日)　　参加者　20人

毎年、福光中央会館で行われている「歳末芸能チャリティショー」に参加しました。「互いに支え合う家庭」パートⅡと銘打ち、近ごろの若者や介護、孫守りなど5つのコントを披露。分かりやすい内容にアレンジし、男女共同参画社会をアピールしました。

今後も、地域の皆さんの理解が深まるよう、活動に邁進していきます。

健康問題の背景には、若い頃からの生活習慣がもとになっています。

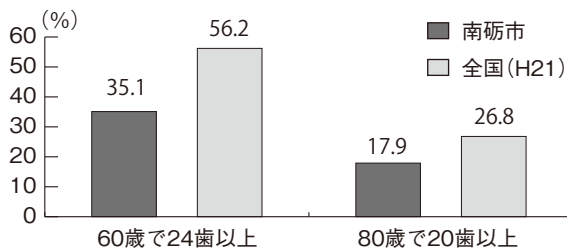
内臓脂肪の蓄積によって、高血圧や糖尿病などの生活習慣病が起こりやすくなります。身体を動かす機会が減る、宴会が多い40歳代から50歳代の働き盛りにその危険が高まります。

課題1 BMI25以上者（肥満者）の割合は40歳代の男性、50歳代の女性が、全国（H22）より高いです。

ポイント

①毎年健診を受け、自分の体におきている変化を調べましょう。
②健康相談を活用し、健診結果から目標体重にあった自分の糖質（炭水化物）の量を確認しましょう。
③自分にあった運動を見つけ、続けましょう。
④野菜1日350g以上を目安に、野菜から先に食べましょう。

※全国:平成22年国民健康・栄養調査

課題2 自分の歯を20本以上有する人が、男女とも全国（H21）より低いです。

80歳で20歯、60歳で24歯を有する割合

ポイント

①定期的に歯科健診を受け、口の中の健康を確認しましょう。
②「歯磨きをしていても磨けているのか?」磨き残しや歯茎の状態を知り、専門家のアドバイスを受けましょう。

※全国:平成21年国民健康・栄養調査

今回の調査から、南砺市の健康課題として、「肥満者（BMI25以上）が多い」「自分の歯を20本以上有する人が少ない」ことが分かりました。肥満者は肥満ではない人に比べ、「多量飲酒している」現状があり、適正飲酒についての正しい知識の普及が必要です。

また、肥満者は肥満ではない人に比べ、「正しい食事と運動が糖尿病予防に関連している」ことを理解している人が多いにも関わらず、適正体重を維持できない現状があり、「知識」を実践に結びつけ、継続するためのモチベーションを高める仲間づくりがポイントと考えられます。

今後は、小中学校からの食育について学校と連携して取り組んだり、スポーツ施設とタイアップした運動体験教室による運動習慣のきっかけづくりを展開したり、疾病の早期発見・治療のための健康診査やがん検診の充実を図るなど、生活習慣病予防対策の推進に取り組んでいきます。

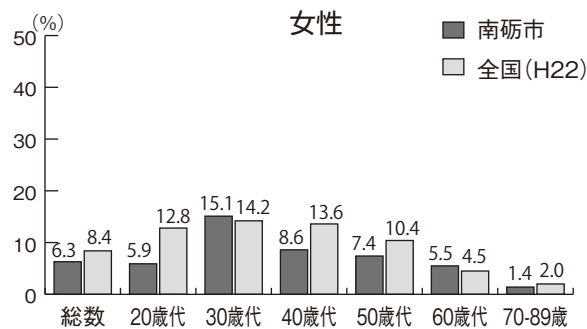
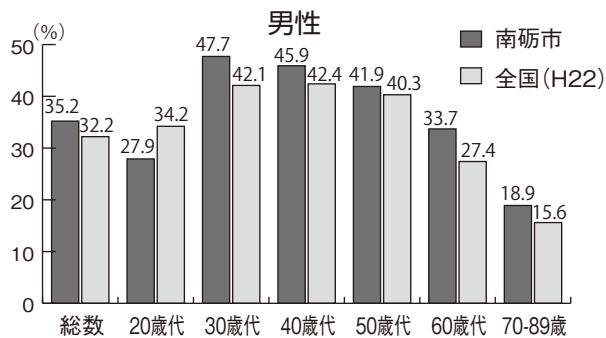
調査にご協力いただき、ありがとうございました

問い合わせ　健康課 保健係（井波庁舎）　☎㉓2027

広報2月号 P11 南砺市健康づくり意識調査結果のお知らせ（第1報）③朝食を食べない人について、H17とH24のグラフ年度表記が逆になっておりました。訂正しお詫びいたします。

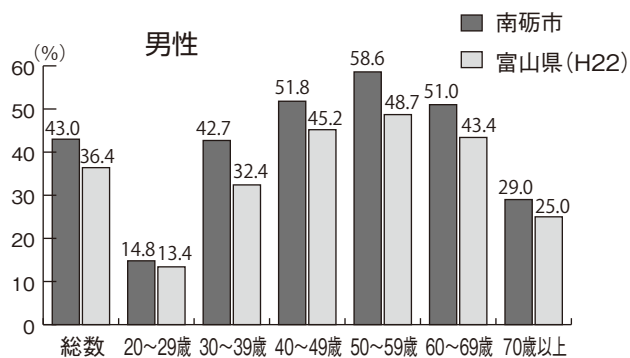
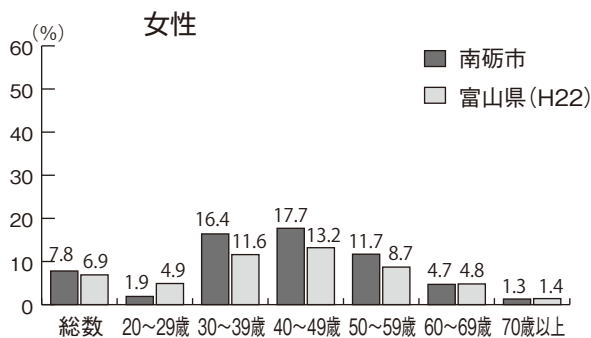
南砺市健康づくり意識調査結果のお知らせ（第2報）

第1報では、食事と運動、休養について調査結果をお知らせしました。今回は、たばことお酒、についてお知らせします。

① たばこを吸っている男性が、全国より多い状況でした。男性の3人に1人が喫煙者です！

※全国:平成22年国民健康・栄養調査

「たばこをやめたい人は、禁煙外来を受診しませんか?」

習慣的にたばこを吸っている人の約7割が、「たばこをやめたい」「本数を減らしたい」と思っています。医療機関における禁煙成功率は約8割と高く、半年後の体重増加も約3kg程度で済みます。

② 飲酒習慣のある人が、男女とも富山県平均より多いです。

＊飲酒習慣:週3日以上飲酒し、1日あたり1合以上を飲酒する。

※富山県:平成22年県民健康・栄養調査

やってみよう!

「適度な飲酒で生活習慣病を予防しましょう。」

健康日本21（第2次）で「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」は、1日平均純アルコール男性40g、女性20g以上としています。飲む前のコップ1杯の水、おつまみは酢の物、飲んだ翌日は休肝日などのルールを作り、会話を楽しみながら適度な飲酒量をこころがけましょう。

★適度な飲酒量の目安（純アルコール約20g）

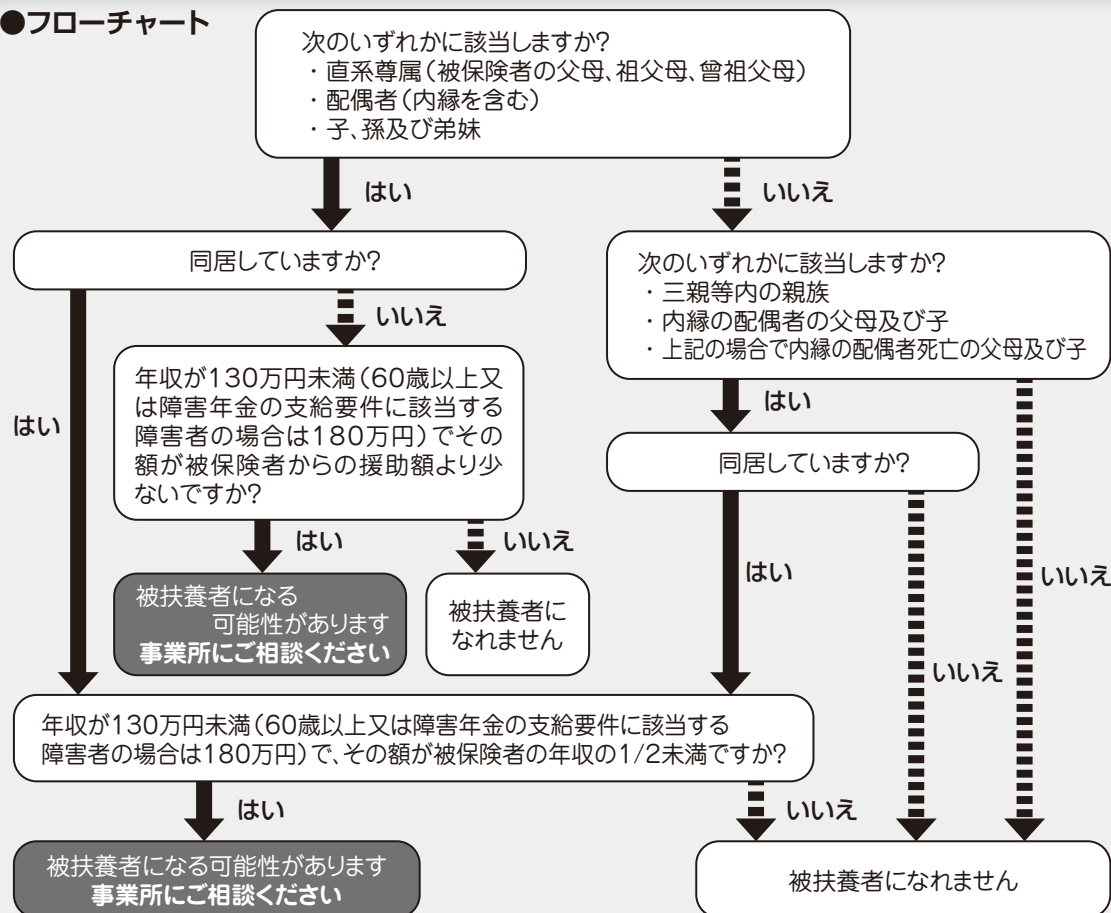
種類	量
ビール（アルコール度数5度）	中びん1本（500ml）
日本酒（アルコール度数15度）	1合（180ml）
焼酎（アルコール度数25度）	0.6合（約110ml）
ウイスキー（アルコール度数43度）	ダブル1杯（60ml）
ワイン（アルコール度数14度）	1/4本（約180ml）
缶チューハイ（アルコール度数5度）	1.5缶（約520ml）

国民健康保険に加入されている方でも社会保険の被扶養者になれる場合があります

現在、国民健康保険（国保）に加入されている方でも社会保険等の被扶養認定基準を満たせば、同じ世帯で会社などにお勤めの方の社会保険に被扶養者として加入することができます。

社会保険等の被扶養者になれば、その世帯にとって国民健康保険税の負担の軽減が図れますので、ぜひご確認ください。なお、現在の所得や世帯の状況によっては、事務所から被扶養者になれないと判断される場合もありますので、あらかじめご承知おき願います。

● 社会保険等の被扶養者認定の目安

以下の「社会保険等の被扶養者認定フローチャート」で、「被扶養者になる可能性があります」（網かけ部分）と判定される場合は、お勤めの事業所に、ぜひ、ご相談ください。

社会保険等…協会管掌健康保険（協会けんぽ）、健康保険組合、共済組合（国家公務員、地方公務員など）

● 社会保険等に加入した場合の手続き

社会保険等の被扶養者の認定を受け社会保険に加入された場合は、以下のものを持参し、必ず14日以内に最寄りの行政センターへ届け出てください。

◆持参するもの　・国保と社会保険の被保険者証　・印かん

問い合わせ　健康課 保険医療係（井波庁舎）　☎㉓2011

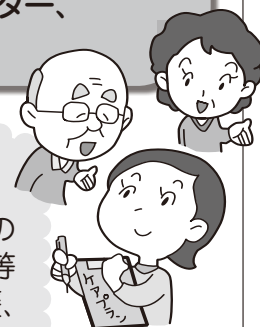
南砺市では高齢者訪問を実施しています!!

南砺市では、地域包括支援センター及び市内8ヶ所の在宅介護支援センター、南砺市社会福祉協議会と協働し、高齢者の訪問を行っています。

地域包括支援センターとは…

お年寄りの皆さまが住み慣れた地域で、いつまでもお元気で安心して過ごしていただけるように、生活全般の支援をおこなっていくための拠点として設置された機関です。

訪問の目的は…

地域における高齢者の心身及び家族の状況や、介護・保健・福祉に関するニーズ等を把握し、高齢者の介護についての支援、または要介護状態になるおそれのある高齢者への介護予防及び生活支援を行うことを目的としています。

対象となる方は…

☆65歳以上の方
☆福祉サービスを希望している方（緊急通報サービスや配食サービス等）
☆身体や日常生活に不安がある方　ほか

◇情報提供していただきたい例

- 最近急にやせてきた
- 地域の集まりに参加しなくなった
- 身なりを構わなくなった
- アザやこぶができていた
- 郵便物や新聞がたまっている
- ゴミが捨てられない
- 家族や親類で頼れる人がいないようだ
- 服薬管理ができていない
- 被害妄想などがある　等

住民の方にも情報提供のご協力をお願いします!

民生委員や自治会、老人会のほか、高齢者が日常的に立ち寄る、調剤薬局・商店街・コンビニエンスストア・郵便局、宅配の業者さん等、地域において多くの人とふれあえる立場にある方々から、介護や生活支援が必要な高齢者の方でお気づきの事があれば情報提供をお願いします。

地　区	名　称	電話番号
全　域	南砺市地域包括支援センター（井口行政センター内）	23－2034
	南砺市社会福祉協議会（井口行政センターの隣）	64－2940
城　端	きらら在宅介護支援センター	62－0483
	在宅介護支援センターうらら	62－8113
平・上平・利賀	南砺市五箇山在宅介護支援センター	66－2808
井波・井口	南砺市井波在宅介護支援センター	82－7773
福　野	ふくの若葉病院在宅介護支援センター	23－1011
	旅川在宅介護支援センター	22－7765
福　光	やすらぎ荘在宅介護支援センター	52－6450
	ふく満在宅介護支援センター	53－0055

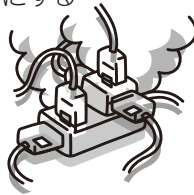
問い合わせ　地域包括支援センター（井口行政センター内）　☎㉓2034

電気火災に注意！！

身近な家庭用電気製品が原因である火災が年々増加しています。出火原因には、維持管理の方法や取扱方法の不備などがあり、電気設備、電気器具、コンセントなどは普段から点検、清掃などを適切に行うとともに、使用する場合は必ず取扱説明書などをよく読み正しく使用しましょう。

●電気火災を防ぐポイント

コンセント・差し込みプラグ・コード

- プラグを抜くときは、コード部分ではなく本体を持つようにする
- プラグは、コンセントと緩みがないようにする
- コードが家具などの下敷きにならないようにする
- コードを束ねたままで使用しない
- たこ足配線にしない

電気製品全般

- 使用していない電気製品のプラグは、コンセントから抜くようにする
- 故障した場合、自分で分解せず専門の業者に修理を依頼する
- 電熱器などの電気製品の周囲には、燃えやすいものを置かない
- 長年、使用していなかった電気製品を使用する時は、専門業者に点検を依頼して安全を確認してから使用する

●トラッキング現象について

トラッキング現象とは、コンセントに差し込んだプラグのさし刃に付着した綿ほこりなどが湿気を帯び、微小なスパークを繰り返し、やがてさし刃間に電気回路が形成され出火することをいいます。

トラッキング現象による火災を防ぐためには、プラグなどにほこりが付いていないか定期的に点検し、清掃するように心がけましょう。（冷蔵庫、テレビなど）

住宅用火災警報器の電池切れにご注意ください！

ヤマトプロテック製住宅用火災警報器（住警器）商品名「けむピー」に付属されている電池の一部において、想定している電池寿命（10年）より早い時期（4～5年）に電池切れとなる事例が発生しています。

交換時期前に電池切れを知らせる警報が鳴ったら、型式を確認し、下記窓口へ連絡すると電池を無償交換してもらえます。なお、電池切れの警報が鳴っている状態でも煙を感知すると警報を発します。また、農業共済センターから配布された不具合の型式のものについても電池を無償交換してもらえます。（型式は裏面を見て確認してください。）

型式は裏面で確認
該当型式　YSA-210JP・YSA-310JP

①シールの貼ってないもの

②農協共済から配布されたシールの貼ってあるもの

◇**ヤマトプロテック**（農業共済のシールの貼ってあるないにかかわらず）①及び②のもの
【お客様相談窓口】☎0120-80-1084（フリーコール）　受付時間　午前9時～午後5時（土･日･祝祭日を除く）
【夜間緊急連絡室】☎072-361-2101　受付時間　平日の午後5時以降及び土･日･祝祭日

◇**砺波広域圏農業共済推進協議会**（農業共済センター内）　☎㉜2277
（農業共済シールの貼ってあるものに限ります）②のもの

問い合わせ　南砺消防署　☎㊾0119

城端、平、上平、井口、福光地域を対象に、平成25年度ごみ収集日が一部変わります

プラスチック製容器包装の収集日が月２回になります。

対象地域 城端、平、上平、井口、福光地域（資源ごみの収集が月1回の町内・自治会）

変更内容 資源ごみの収集が月1回の町内において、従来の資源ごみの収集日に加えプラスチック製容器包装のみの収集日を設け、プラスチック製容器包装の収集を月2回実施します。
※収集日については、平成25年度ごみ収集カレンダーでご確認ください。

燃えるごみの収集日が変わります。

対象地域 福光地域

変更内容 従来3コースにて収集しておりました燃えるごみについて、月曜・木曜コース、火曜・金曜コースの2コースにて収集を実施します。これに伴い、ごみ出しの時間は午後7時30分までとなりますのでご注意ください。
※収集日、収集コースについては、平成25年度ごみ収集カレンダーでご確認ください。

「平成25年度資源回収団体登録」の受付を行います

一般廃棄物の減量化及び資源の有効利用を図るため、集団的に資源回収を行い、資源を回収業者に引き渡した団体に対し、奨励金を交付いたします。

対象者 南砺市内において住民の組織する営利を目的としない、年2回以上の資源回収に取り組むことができる団体

対象品目 新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、アルミ缶、小型家電、布類、天ぷら油

手続き 資源回収団体登録申請書を最寄りの行政センター又は住民環境課へ提出してください。
※毎年度登録が必要です。

受付期限 平成25年3月26日（火）

◆対象品目と金額（平成25年4月実施分より）

品　目	金　額
新聞紙、紙パック、布類、アルミ缶	５円／kg
ダンボール	７円／kg
雑誌	10円／kg
小型家電	20円／kg
天ぷら油	20円／ℓ

犬猫は適正に飼いましょう！

～犬や猫などの不適正な飼い方による生活環境への被害が多数発生しています～

これから春にかけて、動物の繁殖季節に入ります。無駄吠え、糞尿の苦情や管理されない子犬・子猫の出産による相談も増加します。ルールに基づいて、餌の管理、不妊去勢手術による繁殖の抑制、糞尿の始末の徹底など、適切に飼養管理しましょう。

以下の点について注意しましょう

◇飼い犬は、鑑札・注射済票を必ずつけ、糞尿の所かまわない排泄や放置はやめましょう。
◇散歩時はリードを装着し、放し飼いはやめましょう。
◇野良猫への無責任な餌やりや多頭飼育をやめましょう。地域環境への糞尿・悪臭被害、子猫の出産や器物の損壊が生じています。

一部の心無い飼い主による無責任な行為により、地域住民に迷惑がかかり、犬猫嫌いになる方もいらっしゃいます。ペットを飼う時には、愛情と責任を持って終生大切に飼いましょう。ご不明な点は、砺波厚生センター（☎㉒4507）または下記までお問い合わせください。

問い合わせ　住民環境課 環境衛生係（井波庁舎）　☎㉓2035

母子保健などに関する窓口が変更になります！

平成25年4月から

これまで富山県砺波厚生センターが窓口だった以下の事業窓口が、みなさんのより身近な市町村となります！

窓口が変更となる事業		担当窓口
未熟児訪問の実施 （低体重児の届出含む）	低体重児（出生体重が2,500g未満）や、NICUを退院された赤ちゃんの訪問を実施します。 出生体重が2,500g未満の場合、保護者は市町村に届出が必要です。母子健康手帳と一緒にお渡ししている出生連絡票（はがき）を送付ください。	福光 保健センター ☎㊽1767
未熟児 養育医療の申請	出生体重が2,000g以下など身体の発育が未熟な状態で生まれた場合の医療費の給付に関する申請です。	子育て支援室 （井波庁舎） ☎㉓2010
育成医療の申請	病気で身体に障害のある18歳までのお子さんの手術等の医療費の給付に関する申請です。	福祉課 （井波庁舎） ☎㉓2009

※平成25年3月までは、砺波厚生センターが窓口です。（☎㉒3512）

県民による森づくり提案事業（県民実践活動事業）の募集

県では、県民の皆さんが自ら企画・実践する森づくり事業を募集しています。
採択された事業には水と緑の森づくり税を活用して、事業実施に必要な経費への補助が行われます。

◇対象事業

県内の森林での活動を主とし、次のいずれかを目的とする。
（1）森林の整備や森林空間の利活用を推進する事業
（2）県民の森づくりに対する意識の醸成を図る事業
（3）木竹等の森林資源の利活用を促進する事業

◇応募対象者

提案した事業を会員自らで実施することのできる団体、グループ等。

◇支援内容

事業実施に必要な経費について、20万円までは10分の10以内、20万円を超える分についてはその4分の3以内。1事業への補助は50万円を上限とする。

◇応募方法

3月15日（金）までに、富山県農林水産部森林政策課まで提出下さい。
様式は県森林政策課のホームページ又は各農林振興センターで入手できます。

問い合わせ　富山県農林水産部森林政策課（県庁南別館2階）　☎076-444-3385

相倉集落内の古民家に入居希望の6家族が現地見学会

1/19(土)・20(日)

交流会で入居希望者と住民が意見交換

　世界遺産相倉合掌造り集落で入居希望者を対象とした現地見学会が行われ、雪遊びや住居の見学、住民との交流を通して、雪国での生活を体験しました。

　相倉集落の人口減少をくい止めるため、昨年、地元有志がプロジェクトチームを結成し市有家屋「旧高田家」の居住者を募った今回の企画。全国から54組の応募があり、12月の書類選考で12組に絞り込みました。

　今回の見学会には、別日程で見学を行う3組と辞退した3組を除く、東京、福岡、広島、福井、茨城の1都5県から6家族20名が参加。集落内では、雪玉を的に当てる遊びや雪像づくり、カンジキ体験などが行われました。子ども3人と移住を希望されている、福井在住のご夫妻は「雪を見ると童心に帰ります。住むと大変かもしれないけどワクワクします!」とコメント。雪遊びに興じる子どもの様子に目を細める図書健裕区長は「明るい家庭が多いように感じます。1家族に絞るのは非常に厳しいが、集落で相談して決めたい」と話されました。

　旧高田家では、真剣なまなざしで水回りや間取りを入念にチェックする参加者のみなさん。「思ったよりも広い」「造りがしっかりしている」などの意見が聞かれました。また、相念寺に会場を移しての質疑応答では「今年は雪が多い方なのか?」「小学校や保育園の規模を教えてほしい」などの質問が寄せられました。

　今後、2月下旬に新住民を決定し、3月以降の入居を予定しております。

雪玉を的に当てて楽しむ参加者のみなさん

雪像づくりを楽しむ親子

市営バスの愛称『なんバス』に決定!!

1/28(月)

市長室において南砺市営バスの愛称が発表され、名付け親の皆さんに田中市長と県呉西地区公共交通再生研究会の安田賢治会長から、記念品と副賞が贈られました。

マイバス意識の醸成を図ることを目的に、昨年9月に開始された愛称募集。全国から634点の応募があり、審査の結果、愛称は「なんバス」に決まりました。選考理由は、親しみがあり方言の「な〜ん」等、風土性がある点が評価されたものです。

贈呈式には、9名の名付け親を代表し中河七星さん（福野小6年）と北村一星くん（福野小3年）が出席。田中市長と安田会長から「NANTOくんぬいぐるみ」と「図書券」が贈られました。田中市長は「読みやすくインパクトがある。色々な所でPRさせていただきますね」と上機嫌。中河さんと北村君は「気軽に呼べる名前を考えました。選ばれて嬉しいです！」と、こちらも上機嫌でした。

今後、南砺市営バスは「なんバス」の愛称で統一されます。また、車体や時刻表、回数券などにも順次表示していきますので、今しばらくお待ちください。

《『なんバス』名付け親のみなさん》

西川　志築くん（城端小6年）
高桑　綜太くん（上平小2年）
高倉　隼人くん（利賀小5年）
城岸明日花さん（利賀小5年）
経田　彩果さん（利賀小6年）
中河　七星さん（福野小6年）
北村　一星くん（福野小3年）
渡辺　大稀くん（福光南部小6年）
青木　輝男さん（山口県）

交流観光の可能性と意義について語りあう

2/16(土)

いのくち椿館で「南砺市交流観光まちづくりフォーラム」が開催され、観光関係事業者や市民など約80人が交流観光の可能性と意義について考えました。

市では、従来の観光という概念にとらわれず、交流を軸とした観光都市の実現に向け、3月に「南砺市交流観光まちづくりプラン」の策定を進めています。そこに住む人々、地域を知り、楽しみ、愛するとともに、更なるおもてなしの心を醸成する必要があることから、今回のフォーラムが開催されました。

溝畑宏前観光庁長官氏の基調講演に続き行われた事業提案では、丸の内朝大学の2チームと富山観光未来創造塾の塾生が、食や昼寝、民謡をテーマに独創的なアイデアを紹介。「お昼寝リゾート」チームは、都市生活者をターゲットに湖畔や合掌家屋などで、昼寝を中心としたリラックス空間を提供する事業を提案しました。

また、溝畑氏と田中市長の対談も行われ、溝畑氏が「昼寝にスポットを当てた提案は面白い。オンリーワンになれるものがある」と述べ、田中市長は「全ての提案が少しずつ関わり、ビジネスにつながっていけるようになればいい」とコメントしました。

ご寄附感謝します

●社会福祉費へ
齊藤きみ子さん（福光）　5万円

●児童福祉費へ
酒谷　貢さん（福野）　4,500円

3作業所合同で「ふれ愛 餅つき大会」！

2/2(土)

フレンドハウス福光で市内3福祉作業合同の「ふれ愛餅つき大会」が開催され、参加した約100名が会食しながら互いの交流を深めました。

市社会福祉協議会「地域歳末たすけあい事業」の助成を受け行われた同大会。この日は、早朝から作業員やボランティアの方々が協力して餅つきを楽しみました。また、お昼の会食には、日頃お世話になっている近隣住民のみなさんをご招待。アン・ゴマ・きな粉がまぶされたお餅のほかに、栄養満点のトン汁も登場し気の合う仲間と舌鼓を打っていました。今年100歳を迎えたお爺ちゃんも「何はともあれ、美味しゅうございます！」と上機嫌のご様子でした。

このほか、城端のボランティア団体「福寿草一座」のメンバーによる「歌と踊りのバラエティショー」も披露され、会場からは笑いと拍手が絶えませんでした。

表彰おめでとうございます（敬称略）

◆平成24年度元気とやまスポーツ大賞

【元気とやまスポーツ大賞】
活動者部門　中西　敏子（福光卓愛会）

【元気とやまスポーツ賞】
指導者部門　重原　裕（市バスケットボール協会）
　　　　　　畠中　俊夫（市バスケットボール協会）
活動者部門　中川　孝信（城端水泳スポーツ少年団）
　　　　　　山本　陸（福光ソフトテニススポーツ少年団）
　　　　　　尾山　仁哉（福光ソフトテニススポーツ少年団）
体力つくり推進校部門　南砺市保育士会　代表　廣田　麻利子

◆平成24年度富山県農業振興賞
◇米　部　門（集団）（農）とのご（福光）
◇麦　部　門（集団）（農）ファーム野尻古村（福野）
◇大豆部門（集団）（農）金戸営農組合（城端）
◇園芸部門（生産者）波能　朋夫（井波）
◇環境にやさしい農業部門　坂井　晋（福光）
◇指導者部門　窪田　謙治（福光）

◆平成24年度　花と緑の銀行南砺支店花壇コンクール
◇市長賞　福野北部自治振興会（福野）
◇議長賞　開発花友の会（福光）
◇優秀賞　玉成花壇愛好会（福野）
〃　イオックス ヴァルト（福光）
〃　野菊の会（福野）
〃　井口老人会（井口）
優良賞　桐木花と緑の活動推進協議会（福野）
〃　観音町花と緑の会（福光）
〃　なんと☆フラワールド（城端）

◆プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選
◇選考審査委員特別賞　里山のオーベルジュ 薪の音（城端）

全中スキースペシャル!!

なんとのひろば

開会式前の結団式で「頑張ろう!」と気勢を上げる県選手団のみなさん

2月2日(土)〜6日(水)の5日間、「みなぎる闘志　希望を胸に　富山の雪原駆け抜けろ」のスローガンのもと、43都道府県から約900人の中学生が出場し、「第50回全国中学校スキー大会」が南砺・富山の両市で開催されました。

天候が日によって変化を見せた今大会。期間中、大勢の関係者が早朝から深夜まで整備にあたり、万全のコース状態で競技が行われました。クロスカントリー競技が行われた「たいらクロスカントリーコース」には、市内から大勢の方が訪れて声援を送り選手の滑りを後押ししていました。

開会式

富山県民会館で行われた開会式には、選手団・役員など約1,200人が出席しました。(公財)日本体育連盟の三町章会長らのあいさつに続き、田中市長が「ともに健闘を称えあい、互いの友情を深める、印象深い大会になることを祈っております」と選手を激励。また、地元生徒を代表して城端中学校生徒会長の金田絢(あや)女さんが「ようこそお越しくださいました。微力ではありますが、皆さんが精一杯力を発揮できるようサポートいたします」と、歓迎のことばをおくりました。

選手宣誓を務めたのは、山元令壱(れい)選手(上滝中3年)と林明日香選手(城端中3年)のお2人。「多くの方々の支えに感謝し、全国から集まったライバルたちと競い合うことに喜びを感じながら、最高のパフォーマンスを目指して最後まで走り抜くことを誓います!」と、力強く宣誓しました。

開会式終了後、林選手は「(選手宣誓は)もう少し声を出せば良かったです…」と照れながらも、大役を果たした安堵の表情を見せていました。

力強く選手宣誓する林選手(右)